< お知らせ情報(C情報)に至らないごく軽度な機器故障 > (月報) (機器の故障に起因する不適合事項(軽微なもの))

平成28年4月分(11月30日現在)

No.	発生日	設	備	概 要	処置状況	発生場所
1	H28.4.7	エリア放射線(放射線を選定・監視する	重続的に測	サービス建屋のエリア放射線モニタに おいて、放射線量の指示値が測定範囲 の下限を示す警報が発生した。 原因調査の結果、光ケーブルで接続されている他の放射線モニタの点検に犯した。 いて、点検時の設定を解除した後では記載とないなが、記載されていなからより、当該警報が発生ものと判断した。 このではいないないながら、報が発生ものと判断のタイミングを工事要領書に引きなが、当該警報発生を受け、サーベメータにより放射線量を1日1した。なお、当該警報発生を受け、サーベメータにより放射線量を1日1したの、影響はなかった。	処置済み	サービス屋
2	H28.4.8	原子炉隔離時 (原子炉を附合に、原子火 を確保し冷 備)	扇離した場 P内の水位	高圧炉心スである。 張り作業を実施していたとは関大いである、なっのしていたとは関連であるが、は、本っののしていたが、は、本っののしていたが、は、ないのではないのではないのではないのではないのではないのではないのではないのでは	処置済み	原建子屋

	T	T		T	
3	H28.4.11	気象観測設備 (発電所構内の気象データを測定する設備)	気象観測設備にて大気安定度データを確認した際、当該データが一部欠測した。調査を行った。調査を行った。 おいることを確認した。 調査をを確認した。 プログラムに誤りがあることを確認した。 では、測定結果に異常のないことを確認した。 原因調査の結果、データの演算に使用している時間設定に誤りがあったため、 メーカー間設定に誤りがあったため、 メーカー側の業務プロセス改善を 対示した。	<u>処置済み</u>	屋外
4	H28.4.19	プロセス放射線モニタ設備(放射線を連続的に測定・監視する設備)	プロセス放射線モニタ設備の点検のため、測定値を監視・警報を発生さに操作しための監視装置を点検時の設定に操作したところは、点検であるした。原因調査の結果、当内の部基板に取り付けを行っており、点検されているケーブルの取り外のの大きが明確ではなかっており、点検なかったが明確ではなかったと判断した。このため、当該ケーブルを正しくよびによりに変の動作確認について、作業手順ものした。	処置済み	中制御史室
5	H28.4.20	ダスト放射線モニタ設備 (各建屋内の空気中に 含まれるちりやほこり に含まれる放射性物質 の量の測定および監視 している設備)	ダスト放射線モニタ設備において、測定データが環境モニタ計算機へ伝送されていないことを示す警報が発生していることを確認した。 原因調査の結果、ハードディスクドライブの処理速度の低下が原因と推定し、ダスト放射線モニタ設備に付属する操作パソコンのハードディスクドライブの最適化を実施したことにより、事象が再発しないことを確認した。	処置済み	サービス 建 屋

・「不適合」とは、要求事項を満たしていない状態をいいます。

処置状況欄記載の「対応中」、「補修済み・取替済み・復旧済み」、「処置済み」については、以下の 状況をいいます。

- ・対応中 :要求事項を満足する状態に復旧中です。
- ・補修済み・取替済み・復旧済み:要求事項を満足する状態に復旧済みです。

今後、原因調査、対策等を講じます。

・処置済み:要求事項を満足する状態に復旧し、原因調査、対策等を実施済みです。

なお、今後、水平展開について検討・対応します。

・今月の更新箇所は下線で示しています。